

教 育 研 究 業 績 書

令和 5年 4月 1日

氏 名 井 澤 正 憲

研 究 分 野	研究内容のキーワード	
陶芸	工芸、現代陶芸、造形表現	
教 育 上 の 能 力 に 関 す る 事 項		
事 項	年 月 日	概 要
1 教育方法の実践例 ① 器とは ② 素材と表現	平成 24 年 4 月～ 平成 28 年 4 月～	和歌山信愛女子短期大学生活文化学科生活文化専攻生活工芸 1年生選択科目、器とは何か?という問いを毎回投げながら様々な技法を習得していく。 器の可能性を探求する事で、器と空間についても考えていく。 パフォーマンス会場：ギャラリーハチ・ハチラボ 共演：スペイン人陶芸家 和歌山信愛女子短期大学生活文化学科生活文化専攻造形実習 2年次選択科目である為、1年次で陶芸を選択し、基本的な技法を習得した学生が更なる表現に挑む。美術館やギャラリーへの引率、スライドレクチャー等を通し、イメージにダイブして行く。 展覧会活動や公募展への挑戦出来る力がついた。 和歌山県立図書館での展示 和歌山県立近代美術館での展示（県展入選）等
2 作成した教科書、教材 ① スペインと日本の現代陶芸 「レラシオン・セラミカ」 スペイン現代陶芸 ② CATALOGO DE MISION CERAMICA	平成 20 年 8 月 8 日 平成 27 年 11 月 25 日	スペイン現代陶芸作家エンリケ・メストレに師事したバレンシアを中心に世界で活躍する作家名と、日本の現代陶芸の先駆者である林康夫に師事した日本人作家の図録と授業用データ。 スペイン現代陶芸と日本の現代陶芸を授業用にデータ化。 日本の陶芸技術資料と共に、陶土による表現の可能性を考察、実践する。
3 教育上の能力に関する大学等の評価 ① ②		
4 実務の経験を有する者についての特記事項		

① 海辺の石を焼く	平成 15 年 9 月	和歌浦海岸にて「パレスチナが見たい」の著書、森沢典子とのワークショップ。 海岸を散策し、レンガ片（陶片）を収集。 その形からイメージする模様を低温釉薬で絵付けし、海岸の石で組んだ窯にて焼成。焼成後、冷却還元。目の前で変化する模様を楽しんだ。
② イギリス現代陶芸家とのセッション	平成 16 年 7 月	東海南中学校 八幡工房に約 1 ヶ月滞在制作活動した、イギリス出身の陶芸家とのワークショップとスライドレクチャー。 地元の土を使って生徒との作品交流。
③ 陶芸講座	平成 19 年	展示：八幡工房内ギャラリーハチ 和歌山大学観光学部 八幡工房にて講座と穴窯体験。 和歌山での陶芸活動と地域と文化について説明。その後、焼き物の制作工程を見学してもらい、焼成中の薪窯に薪を入れる体験も行なった。
④ レラシオン・セラミカ ディスカッション	平成 20 年 8 月	和歌山市民会館 展覧会のため来日したスペイン人作家との対談。スペイン現代陶芸の説明とバレンシアの文化について。
⑤ ことばをかたちにする	平成 23 年 1 月	主催：小野町デパート 芦原幼稚園 1 回目、ぐちゃぐちゃ粘土遊び 2 回目、園庭で野焼き体験
⑥ くうそう動物園	平成 23 年 10 月	展示：和歌山市民会館 和歌山信愛幼稚園でのワークショップ 1 回目、園庭の土を混ぜて表情を付ける 2 回目、絵付けと野焼き体験
⑦ 満潮祭アート&クラフト	平成 23 年 11 月	展示：八幡工房ギャラリーハチ アガサス 25 周年記念祭 緒方敏明/井澤正憲/井澤幸子/ウッキー富士原/Fuu/AWAYA/田中太山 アート表現「浜辺の錬金術師 1」 浜辺の石に低温釉薬を塗り、その場で焼成するワークショップ。
⑧ 古民家と現代アート陶芸作品と磁器でのあかり展	平成 23 年 12 月	会場：片男波公園、片男波海水浴場 会場：和歌山県立紀伊風土記の丘 重要文化財 旧柳川家住宅の蔵 主催：和歌山信愛女子短期大学学術研究会 後援：和歌山県教育委員会/ニュース和歌山 「あかり」をテーマに、原型を制作、磁器泥漿 鑄込みによるあかりのオブジェを制作し展示した。
⑨ 質感の対比と調和	平成 24 年 10 月	和歌山信愛幼稚園でのワークショップ 第 1 回、かたい形とやわらかい形 第 2 回、「絵付け」と「野焼き」
⑩ 東北へのエール	平成 24 年 10 月	展示：和歌山信愛中学校高等学校 「ここにいるよ」（あかりの作品） 和歌山信愛短期大学生活文化専攻学生作品のパネル出品
⑪ 文化庁文化事業/芸術家派遣事業	平成 25 年 10 月	展示：福島県立博物館 長谷毛原小学校中学校にて陶芸講座 1 回目、スライドレクチャーと制作 2 回目、形と模様（絵付けと釉薬掛け）

⑫ 質感の対比と調和 2	平成 25 年 10 月	和歌山信愛幼稚園でのワークショップ 第 1 回、のせる形のる形 第 2 回、「絵付け」と「野焼き」 展示/八幡工房ギャラリーハチ ゲストアーティスト 井澤正憲/井澤幸子/井澤岳丸/奥中章人/奥野誠/奥野佳世/Maiko/田中太山 アート表現「浜辺の錬金術師 2」 海の家にて『砂をガラスに変える実験室』“めがねや”オープン。 砂と重曹を混ぜ、アルミナ紙に置いた磁器で制作した眼鏡フレームに混ぜた液体をうめ、小型電気炉で焼成。 会場：片男波公園、片男波海水浴場
⑬ ミチシオ祭和歌浦アート&クラフト 2014	平成 26 年 5 月	野上第一保育所 粘土で箱庭を制作。 作品は最終的に花瓶となるのだが、形・物の構造を理解する為、基礎、土台、柱、壁、屋根、窓と基本的な作業を進め、自由に装飾を行なった。
⑭ 花と未来	平成 26 年 6 月	内海幼稚園 「親は子に、子は親に」 比較的制作しやすい技法「たたらつくり」による小皿の制作と、園児はぎゅっと握って着けたり突いたりの箸置き制作。 表情豊かなテーブルの上の世界が仕上がった。
⑮ 親子で楽しむ陶芸講座	平成 26 年 6 月	「ぶらくりアート」 磁器でのあかりによるオブジェの展示。 —高校生・大学生・一般の枠を超えてアートと日常生活の融合を楽しむ— 協力：和歌山県立和歌山商業高等学校・2 年生美術選択生/和歌山県立和歌山工業高等学校・3 年創造技術科生/和歌山県立星林高等学校・軽音楽部/和歌山信愛女子短期大学・生活文化専攻学生/ 会場：ポポロビル 1 F
⑯ AKARI 展	平成 26 年 3 月	主催：まちなか交流スペース「みんなの学校」 長谷毛原小学校中学校にて陶芸講座 1 回目、スライドレクチャーと制作 2 回目、形と模様（絵付けと釉薬掛け）
⑰ 文化庁文化事業/芸術家派遣事業	平成 26 年 10 月	「ワダイノカフェ レラシオン・セラミカ」 展覧会の為来日しているスペイン人陶芸家をゲストに、和歌山大学教育学部教授寺川剛央と和歌山信愛女子短期大学講師井澤正憲による現代陶芸談議。 登壇：寺川剛央/井澤正憲 会場：ロザリータ（和歌山市） 和歌山大学連携推進協議会
⑱ ワダイノカフェ	平成 27 年 7 月	「表現活動（アート&デザイン）と法律」 表現活動における著作権問題についての対談。 会場：和歌の浦アート・キューブ 高等教育機関コンソーシアム和歌山採択事業 講師：馬場貞幸/Art and Law・弁護士 井澤正憲/和歌山信愛女子短期大学講師 小川貴央/WAKAYAMA SALONE 代表
⑲ WAKAYAMA SCHOOL OF ART	平成 27 年 9 月	

⑳ シンポジウム「地域文化立国宣言」	平成 27 年 9 月	井澤正憲企画の「ミシオンセラミカ」(スペイン陶芸家との交流展)に至るまでを講演。
21 文化庁文化事業/芸術家派遣事業	平成 27 年 10 月	2006 年スペイン人陶芸家エンリケメストレ氏との出会いから現在までの文化交流の流れについて。
22 WAKAYAMA SCHOOL OF ART	平成 28 年 9 月	登壇：井澤正憲/土井久幸/貝塚まちなかアートミュージアム/堺アートプロジェクト/北夙川不可止 会場：和歌山大学松下会館（和歌山市） 長谷毛原小学校中学校にて陶芸講座
23 親子で楽しむ陶芸体験	平成 28 年 12 月	1 回目、スライドレクチャーと制作 2 回目、形と模様（絵付けと釉薬掛け） 平成 28 年度 高等教育機関コンソーシアム和歌山採択事業 第 1 話「和歌山アートの学校社会学編」 各地域での試みから紐解く、地域・社会でのアートの機能。アートは地域の人々にどのような作用をもたらしたのか。地域アートの課題とは。
24 和歌山信愛女子短期大学生 活文化専攻学生×障がい者の 陶芸教室	平成 29 年 8 月	平成 28 年度 高等教育機関コンソーシアム和歌山採択事業 第 1 話「和歌山アートの学校社会学編」 各地域での試みから紐解く、地域・社会でのアートの機能。アートは地域の人々にどのような作用をもたらしたのか。地域アートの課題とは。
25 飾るかたち	平成 29 年 12 月	会場：イオンモール和歌山 3F イオンホール 講師：芹沢高志/アートディレクター 井澤正憲/陶芸家・和歌山信愛女子短期大学講師
26 和歌山信愛女子短期大学生 活文化専攻学生×留学生の陶 芸教室	平成 29 年 12 月	平成 28 年度実践的教育プログラム 生活文化学科生活文化専攻井澤ゼミ 「粘土遊びと小皿制作」 【目的】ぐちゃぐちゃ粘土遊びから、造形の原点を探る。
27 「室礼」	令和 3 年 1 月～	展示：平成 29 年 2 月 和歌山信愛女子短期大学 保育ホール 和歌山みその商店街 麦の郷総合支援センター アートサポートセンターRAKU 井澤ゼミ学生 展示：11 月 24 日 アートサポートセンター内 和歌山信愛短期大学附属信愛幼稚園 第 1 回、未来の自分に贈るメダルというテーマで 2 種類の土を使い制作。 第 2 回、絵付けと野焼き。 第 3 回、構成 展示：平成 29 年 2 月 和歌山信愛中学校高等学校 校内ギャラリー 和歌山大学 井澤ゼミ
5 その他 ① 和歌山県立図書館生涯学習	平成 26 年 4 月	毎月 1 回、環境と空間を使った「季節の室礼」 をテーマに生活空間を彩るインスタレーション を開催している。 展示空間：八幡工房
②		生涯学習講座「陶芸ワークショップ」 (2015.2016.2017)
職務上の実績に関する事項		

事 項	年 月 日	概 要
1 資格、免許 ① 中学校教諭 1 種 28 高等学校教諭 1 種 29 高等学校教諭 1 種	平成 6 年 3 月 31 日 平成 6 年 3 月 31 日 平成 6 年 3 月 31 日	美術 美術 工芸
2 特許等 ① ②		
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
「展覧会企画」 ① New Raga Acoustics ② Isotope 1 ③ Isotope 2 ④ 山田原綜 展 ⑤ heart & hand	平成 15 年 4 月 平成 15 年 10 月 平成 15 年 12 月 平成 16 年 4 月 平成 16 年 7 月	八幡工房ギャラリーハチでの井澤正憲による企画展 ギャラリーハチ：陶芸の可能性を研究する為に開かれたギャラリー 陶芸×音楽、陶芸×演劇、陶芸×異素材、陶芸×地域・人 シタールとタブラのライブ（音楽） 吉田大吉他 インド伝統音楽研究科であり奏者である吉田大吉氏とシタール奏者のライブ。 音と器の共鳴を楽しむ。 ロワ＝タアル＝ヴォガ（演劇） 草壁カゲロワ / 近藤和見 他 前衛演劇が演じられるまでの数日間、この準備作業が教育にとって非常に重要である。地域の子ども達が、劇場が出来上がるまでを体感した。 ロワ＝タアル＝ヴォガ（演劇） 草壁カゲロワ / 近藤和見 他 第 1 回目の公演から関西を巡演し約 2 ヶ月、京都での最終公演を前に八幡工房に戻る。この間、経験してきた彼らから地域の人々は何かを感じ取ってくれたに違いない。 切り絵（平面） 25 点展示 パーキンソン病を患いながらも、その不自由な手で切り絵を制作してきた美術教師。暖かく大胆な切り絵の世界を、器のある空間で演出。 八幡工房に 1 カ月滞在期間中に制作したイギリス陶芸家 Tim Sinclair の陶芸展。 作品焼成用の新たな薪窯を築窯、彼の制作した作品にたっぷり地元の土を塗り、3 日間かけて焼成。焼成時多くの地域の方々も参加し、冷却還元の商品、約 100 点を焼き上げた。 展覧会期間中は野点、ライブ等イベントも開催。ワークショップに参加した東海南中学校の生徒作品展も同時開催。

⑥ 陶芸展	平成 17 年 7 月	八幡工房に 6 カ月滞在期間中に制作したアメリカ人陶芸家 Jay Patrick Dion の陶芸展 滞在期間中、新たな薪窯を築窯。窯の制作は八幡工房では 8 基目となる。工房併設のギャラリーのよい所は、作品がどのような環境で生まれてきたのかわかることにある。窯も作品の一つであるし、ない物は 1 からつくる事を参加した子ども達に伝えたかった。 薪窯焼成の作品を中心に約 300 点展示。
⑦ ちょっとなつかしむ作品展	平成 17 年 10 月	山田原綜の遺作展 / 切り絵 (平面) 30 点展示 平成 16 年にギャラリーハチで展覧会をした作家の遺作展となる。
⑧ 祭りの野点映画館	平成 17 年 10 月	『野上座』手回し式の映写機・戦前のフィルムでの活動写真上映。上映内容「日本最古のアニメフィルム」「戦前 (大正～昭和初期) のチャンバラから漫画など」。 『幻の燈 BAR』明治期の幻燈種板の投影。 カイロプティック商會：松本夏樹 (武蔵野美術大学講師) / 小崎泰嗣 (活動弁士) / モンモランシー (葉子)
⑨ 「ヨーロッパのおもちゃ展」①	平成 18 年 12 月	八幡工房敷地内を昭和初期のイメージに再現。 井澤正憲・井澤幸子制作の器を使った 1 夜限りの幻燈 BAR。上映会場では弁士が手回し映写機で日本最古のアニメーション映画を上映。 ドイツの木のおもちゃ展 シュタイナー教育に使われるドイツの玩具輸入会社の協力で、ギャラリー内を演出。 職人による暖かい木の造形を、より多くの方に知って頂ければと企画。
⑩ 南勇吾 展	平成 18 年 12 月	染色 10 点展示 スペイン在住の染色家の作品展。 色彩豊かなろうけつ染の大作は、植物と動物が組み合わさった不思議な世界。
⑪ 野上電気鉄道ありし日の思い出と今	平成 19 年 3 月	松村康史 写真・模型・映像 JR 海南駅から野上町 (現・紀美野町) 登山口の間を走っていた単線を撮影した作品展。廃線になった現在も、変化し続ける風景を記録として撮影を続けている。 会場内には N ゲージを走らせ、当時の映像とともに思い出に浸って頂けるよう構成。
⑫ 「ヨーロッパのおもちゃ展」②	平成 20 年 12 月	ドイツを代表する絵本作家エバマリア・オッターハイドマンの原画展。シュタイナー学校の教科書の挿絵。 30 点展示 (立体/平面)
⑬ 高野山ゆかりの高僧書跡展	平成 21 年 6 月	紀美野町にある醫王寺所蔵の書跡を展示。 後援：高野長峰霊場会
⑭ 「ヨーロッパのおもちゃ展」③	平成 21 年 12 月	ドイツを代表する人形メーカードイツを代表する人形メーカー ケテクルーズ、ハイスパ、ポングラッツ社の人形コレクションを展示。
⑮ 八木のぶおライブ	平成 22 年 3 月	TV「北の国から」「探偵物語」等のテーマ演奏を手掛け、北野武「HANABI」、坂本龍一「星になった少年」のサウンドトラックに参加する八木のぶおと、和歌山のギタリスト、アニキのライブ。参加者へのワークショップもある企画。

⑯ 花の世界展	平成 22 年 5 月	富士原史香によるインスタレーション ライブハウスやギャラリーなど数々の場で独自の宇宙観を自由な発想で表現。八幡工房の器と花の世界をインスタレーションで展開。
⑰ とんぼ玉展	平成 22 年 8 月	平松佐世 (ガラス) 小さなガラス玉の世界に作りこまれた宇宙。 作品点数 100 点。
⑱ はたのよしこ作品展	平成 22 年 10 月	イラストレーション 紀美野町カフェマップ (紀美野町でのカフェブームに火をつけた問題作) のイラストを担当した絵画展。新旧合わせ 30 点の展示。 問題作: 井澤正憲がデレクターを努めた地図。紀美野町で迷子になってもらう為の、地図のいる地図はスマホ時代に合った生活文化力を上げた。
19 「ヨーロッパのおもちゃ展」④	平成 22 年 12 月	シュタイナー教育の考えを基本に、子どもの感性を豊かに育むおもちゃ作りを手掛ける、グリムさんのおもちゃ展
20 ボタニカルワルツ」①	平成 23 年 5 月	富士原史香によるインスタレーション 植物による立体作品。ギャラリー内に実物大の蔦による小船を制作。小船からは植物が生い茂り、見るものは自然と一体化する演出。
21 「Painful」	平成 23 年 6 月	池田亜由美 (平面) アクリル絵画 10 点 自らの痛みをテーマに制作している作家。
22 「タカシマアート」	平成 23 年 7 月	コウジタカシマ (平面) 世界を放浪して描き貯めた油彩 20 点展示。 会期中「インスピレーション絵画」パフォーマンスを開催。作家が観客との会話でイメージが浮かび上がる世界を描き上げる
23 「私的生物図鑑」	平成 23 年 8 月	坂口智洋 (とんぼ玉) 生物をテーマに制作されたトンボ玉約 50 点展示。展示会場は理科実験室の内装に組み替え、来場者はそこで不思議な小さな生物と出会う。空間が場を作り、作品もまた場をつくる。
24 「ウイズアート」①	平成 23 年 11 月	社会福祉法人芳春会 作業所の人々が労働の合間に「アート」する。 針金造形、植物の種への彩色と構成、CG、絵画等、表現を通して交流の場をつくる。
25 「アートサミット」	平成 23 年 12 月	10 人の作家による提案 (平面/立体) いかわまるみ / えかわたえこ / 川口晃平 / 三枝由美 / 高嶋洋和 / 土井知子 / 光岡誠造 / 村上智彦 / Grautner / ウッキー富士原 グループ展のように個々のブースを設けない企画展。作品と作品の出会いがどのような作用をもたらすのか実験の為の空間をつくる。
27 「ボタニカルワルツ」②	平成 24 年 5 月	富士原史香によるインスタレーション 植物オブジェの展覧会第 2 弾。 鳥の巣をイメージにギャラリー内にドームを制作。ドーム内には自由に出入り出来、子どもから大人まで体感できる展示。光による時間とともに表情を変える立体からの影が見学者のイメージをより刺激した。

28「スパークエイト 第3話」	平成24年7月	NHK制作陣と監督、出演者による上映とディスクッション（映像） NHK Eテレ「カラフル」で放送された「僕が監督 主演は怪獣」の撮影現場である八幡工房にて、番組最終に予告していた映像の本編を上映。
29「はぴかむ展」	平成24年10月	柳岡未来 陶芸展 ねこ造形作家による「招き猫」展。 作品数200点。
30「ウイズアート」②	平成24年11月	社会福祉法人芳春会 素材研究から表現。 絵画、造形、CG、素材との格闘から生まれた作品展。展示点数120点。
31「土井知子染色展」	平成25年9月	染色作品インスタレーション 駅や様々な空間を染色で飾る作家。
32「舟山れいら染色展」	平成25年12月	和歌山の素材にこだわった草木染
34「ロビン デュプイ チェロライプ」	平成26年2月	音を見える形にしてのワークショップ
35「えかわたえこ展」	平成26年3月	消しゴムはんこ、平面作品
36「きになる蜜柑 展」	平成26年10月	8人の作家による表現 千葉梓 / 舟山れいら / 江川将太 / 楠戸ちさと / ロビン・デュプイ / 井澤幸子 / 井澤正憲
37「ミシオン・セラミカ」	平成27年7~9月	スペイン現代陶芸作家展（立体） 林康夫 / 北尾望 / エンリケ・メストレ / パブロ・ルイス / ビビアナ・マルティネス / テレサ・ゲレロ・セラノ / スーピー・フー / フアン・オルティ / プレセンタシオン・リコ / カルメン・サンチェス / アントニア・カルボネイル / テレサ・アパリシオ / カルメン・マルコス / ベアトリス・カルボネイル / フアン・ルイス・トルトッサ / アナ・パストール / ハビエル・モンサルバッチェ / フアン・オルティ / ミリアム・ヒメネス / カルメン・バジェステル / アナ・フェリペ / ファニー・ガレラ
38「八祭」	平成28年11~12月 平成29年11~12月 平成30年11~12月 令和元年11~12月 令和2年11~12月 令和3年11~12月 令和4年11~12月	県内外で作家活動を行っているグループ展 様々なジャンルの作品による展示を通し、生活文化を研究する

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書)				
1 ボクがヘンなうつわをつくるわけ	単	平成24年3月	(有)アガサス	A g a s u s u 3月号 コラム執筆
2 ミシオン・セラミカ	共	平成27年11月	銀聲舎出版 会	スペイン現代陶芸
(学術論文)				
1 ジオラマによる境界線表現	単	平成31年3月	京都造形芸術大学大学院	京都造形芸術大学図書館 「制作研究ノート」
2 子どもの表現に関する研究動向	共	令和3年3月	信愛紀要第62号	共著：田原淑子、今西香寿 0歳児から6歳児までの発達と表現についての研究を描画に絞り記述。
3 5歳児の活動を通してみられる表現	共	令和4年3月	信愛紀要第63号予定	共著：今西香寿 身体の発達と大きく関わる5歳児の造形表現についての実践報告。
4 表現「土」	単	令和4年3月	信愛紀要第63号	「土」を素材とした造形表現について。 作品に至るまでの造形思考。
5 井澤正憲作品展	単	令和4年3月	信愛紀要第63号	2021年度における表現活動のまとめ。
(その他)				
「展覧会」				
1 陶芸展		平成10年10月		宝塚国際交流センター 兵庫県 自然食を研究するグループとの展示会。 食器 30点展示
2 井澤正憲 井澤幸子展		平成11年12月		ヒロ画廊 和歌山 企画 大阪芸術大学修了制作作品 15点 遺構をモチーフにした作品 50点 食器 100点展示
3 陶芸展		平成11年10月		宝塚国際交流センター 兵庫県 自然食を研究するグループとの展示会。 食器 30点展示
4 陶壁		平成11年10月		和歌山県立有田中央高等学校 陶壁制作
5 兵庫に係わる作家展		平成12年6月		芦屋画廊 兵庫県 企画 彩色変形花器 5点展示 マット釉薬を基本に、和歌山の低温で溶解する土で着色した花器
6 ビアマグ展 1		平成12年7月		ヒロ画廊 和歌山 企画 井澤正憲/井澤幸子/奥野利彦/角倉起美/ 松下隆介 ビアマグでいかに遊ぶか？という課題のある展覧会。 5種 50点展示。
7 陶芸展		平成12年10月		宝塚国際交流センター 兵庫県 自然食を研究するグループとの展示会。 食器 30点展示
8 翔龍祭アートフェスティバル		平成12年11月		龍神村体育館 (和歌山) 受賞作品展示 1点
7 器展		平成12年12月		ギャラリーもみ 和歌山県 企画 食器 200点展示

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
8 百のこころ展		平成12年12月		ギャラリー百寛 和歌山 企画 遺構をテーマに制作したオブジェ 5 点展示
9 紀北陶房の会		平成12年		和歌山市民会館 和歌山県紀北に工房を持ち、県内外で作家活動している作家展 花器 3 点展示
10 陶展		平成13年3月		ギャラリーエスポワール 企画 近鉄カルチャーセンターの講師展 オブジェ 5 点展示
11 ビアマグ 2001		平成13年6月		ギャラリー北野坂 兵庫 企画 御笹明子/Pomme/Sun/秋永邦洋/池部美貴子/井澤正憲/井澤幸子/稲富清美/井上あかり/今井優/内田恭子/奥野利彦/落合亜希子/加納良子/賀楽裕喜子/佐藤智恵子/嶋田亜由満/白岩玲子/高橋泰子/田淵太郎/中澤雅子/八田亨/松下尚平/松下龍介/森地幸代 ビアマグ 10 点展示
12 ハート&ハート		平成13年7月		ギャラリー百寛 和歌山 企画 オブジェ 5 点展示
13 ビアマグ展 2		平成13年7月		ヒロ画廊 和歌山 企画 井澤正憲/井澤幸子/森岡茂好 ビアマグ 80 点展示
14 紀北陶房の会		平成13年		和歌山市民会館 オブジェ 3 点展示
15 ビアマグ展 3		平成14年7月		ヒロ画廊 和歌山 企画 ビアマグ 100 点展示
16 紀北陶房の会		平成14年		和歌山市民会館 オブジェ 2 点展示
17 イマジン		平成14年		ギャラリー百寛 和歌山 企画 オブジェ 5 点展示
18 作家展		平成14年		Art Spot MOMO 和歌山 企画 オブジェ 30 点展示
19 井澤正憲 井澤幸子展		平成14年12月		アートギャラリー10 兵庫 企画 そばにおきたくなる楽しい作品 150 点
20 長三賞陶芸ビエンナーレ		平成15年11月		常滑市体育館サブアリーナ、愛知県立美術館 陶芸ビエンナーレ出品作品展
21 第41回 朝日陶芸展		平成15年		丸栄スカイル（名古屋）、県立陶芸の森信楽産業展示館（滋賀）、福井県陶芸館（福井）、やきものの里かわら美術館（愛知）、堺市立文化館（大阪）、益子陶芸美術館（栃木） 主催：朝日新聞社
22 和歌山県美術展		平成15年11月		朝日陶芸展出品作品展 和歌山県立美術館、和歌山県立橋本体育館、上富田文化会館、新宮総合体育館 和歌山県美術展覧会審査委員作品
23 こてん個展		平成15年5月		Bagus（和歌山） オブジェ 5 点展示

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
24 朝日現代クラフト展		平成16年5月		阪急百貨店大阪うめだ本店（大阪） 都筑阪急横浜（神奈川） 招待作品展
25 Alaya Vijiana		平成16年10月		クラブクアトロ心齋橋（大阪） 吉田大吉/U A他 ライブ会場に花器配置
26 益子陶芸展		平成16年10月		益子陶芸美術館（栃木） 陶芸出品作品展
27 八幡工房 VS 吉田大吉		平成16年3月		CoCo Room（大阪）企画 やきものスピーカーとシタールライブパフォーマンス スピーカーオブジェ 5点展示
28 こてん個展		平成16年5月		Bagus（和歌山） オブジェ 10点展示
29 生け花コラボレーション展		平成16年		O A Pホール（大阪） 大阪芸術大学/大阪華道家協会 オブジェ 1点展示
30 こてん個展		平成17年5月		Bagus（和歌山） オブジェ 10点展示
31 第7回国際陶磁展美濃		平成17年7月		セラミックパークMINO（岐阜） 陶芸展出品作品展
32 注器酒器展		平成17年10月		Space2410（和歌山市）企画 注器 20点展示
33 鈴木道子水彩画展 & 井澤正憲・幸子作陶展		平成18年4月		Gallery Cocoro 里の家 大阪 企画 堺市浜寺より移築された木口低にて展示 オブジェ 30点展示 食器 50点展示
34 八幡工房展		平成18年5月		X（スペイン） オブジェ 10点展示
35 井澤正憲 井澤幸子展		平成18年7月		ギャラリー寿苑（和歌山・田辺市） オブジェ 10点展示 食器 80点展示
36 井澤正憲 井澤幸子展		平成18年10月		源じろう（和歌山市） オブジェ 20点展示
37 井澤正憲 井澤幸子展		平成19年5月		芦屋画廊（兵庫） オブジェ 20点展示
38 アルコラ国際陶芸展		平成19年9月		アルコラ陶芸美術館（スペイン） 陶芸展出品作品展
39 井澤正憲 井澤幸子展		平成19年10月		ギャラリー宙 奈良 企画 オブジェ 20点展示
40 井澤正憲 井澤幸子展		平成20年4月		アバローム紀の国 オブジェ 30点展示
41 レラシオン・セラミカ		平成20年8月		会場：Space2410（和歌山） 林康夫/エンリケ・メストレ/奥野利彦/ 奥田美紀/亀井洋一郎/嶋田豪/嶋田裕喜子/ 角倉起美/日野田崇/日野田泰子/井澤幸子/ 北尾望/カルメン・サンチェス/カルメン・バジェステル/アントニア・カルボネイル/テレサ・アパリシオ/アナ・パストール/パブロ・ルイス/ハビエル・モンサルバッチェ/スーピー・フー/ミリア

井澤 正憲

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
42 護念寺改修工事記念展		平成21年4月		ム・ヒメネス/フアン・オルティ/ビビアナ・マルティネス/カルメン・マルコス/ファニー・ガレラ/フアン・ルイス・トルトツサ/コンチャ・レグネ/井澤正憲 主催：小野町デパート 共催：陶芸八幡工房 Gallery Hachi 後援：在日スペイン大使館/和歌山県/和歌山放送 オブジェ 1点展示 井澤正憲/井澤幸子/ウッキー富士原/Fuu/水崎仰社 和歌山市内にある護念寺、大屋根改修工事にたずさわった「一“護”一会」展。 会場：護念寺本堂 企画 オブジェ 5点、インスタレーション 1点展示
43 レラシオン・セラミカ 東京展		平成22年		会場：スペイン国営セルバンテス文化センター東京 企画 林康夫/エンリケ・メストレ/井澤正憲/井澤幸子/北尾望/カルメン・サンチェス/カルメン・バジェステル/アントニア・カルボネイル/テレサ・アパリシオ/アナ・パストール/パブロ・ルイス/ハビエル・モンサルバッチェ/スーピー・フー/ミリアム・ヒメネス/フアン・オルティ/ビビアナ・マルティネス/カルメン・マルコス/ファニー・ガレラ/フアン・ルイス・トルトツサ/コンチャ・レグネ オブジェ 1点展示
44 レラシオン・セラミカ スペインバレンシア展		平成22年		会場：スペイン国立陶磁美術館（バレンシア） 企画 林康夫/エンリケ・メストレ/井澤正憲/井澤幸子/奥野利彦/角倉起美/北尾望/カルメン・サンチェス/カルメン・バジェステル/アントニア・カルボネイル/テレサ・アパリシオ/アナ・パストール/パブロ・ルイス/ハビエル・モンサルバッチェ/スーピー・フー/ミリアム・ヒメネス/フアン・オルティ/ビビアナ・マルティネス/カルメン・マルコス/ファニー・ガレラ/フアン・ルイス・トルトツサ/コンチャ・レグネ オブジェ 1点展示
45 レラシオン・セラミカ スペインタラベラ展		平成23年		会場：ルイス・デ・ルナ陶磁美術館（タラベラ） 企画 林康夫/エンリケ・メストレ/井澤正憲/井澤幸子/奥野利彦/角倉起美/北尾望/カルメン・サンチェス/カルメン・バジェステル/アントニア・カルボネイル/テレサ・アパリシオ/アナ・パストール/パブロ・ルイス/ハビエル・モンサルバッチェ/ス

井澤 正憲

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
46 満潮祭 和歌浦アート&クラフト 2011		平成23年11月		一ピー・フー/ミリアム・ヒメネス/ファン・オルティ/ビビアナ・マルティネス/カルメン・マルコス/ファニー・ガレラ/ファン・ルイス・トルトッサ/コンチャ・レグネ オブジェ 1点展示 (収蔵) 片男波公園 和歌山 企画 緒方敏明/井澤正憲/井澤幸子/ウッキー富士原/Fuu/AWAYA/田中太山
47 古民家と現代アート		平成23年12月		オブジェ 2点展示 陶芸作品と磁器でのあかり展 井澤正憲/和歌山信愛女子短期大学生生活文化専攻学生 会場：和歌山県立紀伊風土記の丘 重要文化財 旧柳川家住宅の蔵 主催：和歌山信愛女子短期大学学術研究会 後援：和歌山県教育委員会/ニュース和歌山
48 EGO-WRAPPIN ACOUSTIC LIVE		平成24年		オブジェ 2点展示 lub luck café (和歌山) ライブ会場作品配置
49 美術の時間		平成24年4月から 平成27年3月まで		会場：旧毛原小学校 「山の学校に展示した作品は、地域にどのような影響を与えるのか？」 校舎保存運動の為、地域の中学校非常勤講師をしながら校舎の清掃と作品展。地元中学生の美術の授業はなるべくここ。保護者対象の陶芸講座もここ。 井澤正憲/井澤幸子/土井知子/長谷毛原中学校の生徒たち
50 点々展		平成24年12月		オブジェ 5点展示 onomachi α 和歌山 企画 3階 井澤正憲展 2階 井澤幸子展 1階 旅するうつわ オブジェ 15点、食器 50点展示 「旅するうつわ」八幡工房内器研究所にて実験中の器 40点を持ち込み、カフェ専属パティシエとの競演。
51 クルージュナボカ 国際陶芸ビエンナーレ		平成25年		
52 マニセス国際陶芸 ビエンナーレ		平成25年		
53 ONSA 第6回		平成25年9月		onomachi α 和歌山 企画 選抜巡回展 井上智象/井澤幸子/井澤正憲/井澤岳丸/依美/打越西芳/大久保陽平/妻木良三/徳常広明/土井久幸/西山武志/藤戸佐千世/

研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項

著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
54 ミチシオ祭 和歌浦アート&クラフト 2014		平成26年5月		前田衣美 オブジェ 3点展示 片男波公園 和歌山 企画 ゲストアーティスト 井澤正憲/井澤幸子/井澤岳丸/奥中章人/奥野誠/奥野佳世/Maiko/田中太山
55 陶展		平成26年11月		オブジェ 8点展示 onomachi α 和歌山 企画 井澤正憲/井澤幸子
56 和歌山県美術展		平成26年11月		オブジェ 30点展示 和歌山県立美術館、和歌山県立橋本体育館、上富田文化会館、新宮総合体育館 和歌山県美術展覧会審査員、作品「世界」巡回展。
58 コンクリート・ニ・モルⅡ		平成26年12月		ギャラリー北野坂 兵庫 企画 多ジャンルの作家 307名 壁のモッコン（穴/ピーコン）に作品を展示
59 ミシオン・セラミカ・エン・サカイ		平成27年8月		会場：ギャラリーいろはに（大阪）企画 井澤正憲/井澤幸子/アナ・パストール/アントニア・カルボネイル/ミリアム・ヒメネス/カルメン・マルコス/ビビアナ・マルティネス/ファン・オルティ/ファニー・ガレラ/ファン・ルイス・トルトツサ 井澤正憲オブジェ 20点展示。 八幡工房所蔵のスペイン人作家の作品 15点展示。
60 堺アルテポルト黄金芸術祭 秋の陣「アート de 茶会 南蛮編」		平成27年9月		スペイン現代陶芸家と現代日本の華道家・書家・歌人および千家茶道がコラボレーションした現代アート茶会。 北夙川不可止/西村佳子/片桐功敦/朝岡あかね 陶芸：パブロ・ルイス/ビビアナ・マルティネス/ファニー・ガレラ/ファン・ルイス・トルトツサ/カルメン・サンチェス/アントニア・カルボネイル/テレサ・アパリシオ/アナ・パストール/カルメン・バジェステル/井澤正憲/井澤幸子 会場：さかい利品の杜（大阪）企画 茶会で使用される菓子器、茶器等出品。
61 和歌山県美術展		平成27年11月		和歌山県立美術館、和歌山県立橋本体育館、上富田文化会館、新宮総合体育館 和歌山県美術展覧会審査員、作品「世界」巡回展。
62 和歌山県美術展		平成28年11月		和歌山県立美術館、和歌山県立橋本体育館、上富田文化会館、新宮総合体育館 和歌山県美術展覧会審査員、作品「門」巡回展。
63 Exhibition "CANDERE"		平成29年1月		Onomachi α 和歌山 企画 「井澤正憲 井澤幸子」の陶芸作品と

井澤 正憲

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
輝く日々に				「武田伸之」金工作家展 井澤正憲：門をテーマとした新作オブジェを 20 点展示。(パーツよる焼付け作品) 1月15日14時～作品解説、対談。
64 海南市美術展		平成29年10月		
65 和歌山県美術展		平成30年1月		
66 コンクリートニモル		平成30年2月		ギャラリー北野坂 神戸
67 京都造形芸術大学 院生展		平成30年3月		ギャラリー揺 京都 清水六兵衛
68 海南市美術展		平成30年10月		海南市民会館
69 和歌山県美術展		平成31年1月		和歌山県立近代美術館
70 コンクリートニモル		平成31年2月		ギャラリー北野坂 神戸
71 京都造形芸術大学 大学院修了制作展		平成31年3月		ギャラリーオーブ 京都
72 京都造形芸術大学 院生展		平成31年3月		ギャラリー揺 京都 清水六兵衛
73 和歌山県美術展		令和2年1月		和歌山県立近代美術館
74 井澤正憲・野村真 弘展		令和2年		和歌山信愛女子短期大学アートスペース 井澤正憲・野村真弘
75 宵闇のパノラマ		令和3年3月		ギャラリー白 大阪 井澤正憲・野村真弘
76 井澤正憲・澤幸展		令和3年5月		ギャラリー揺 京都
77 和歌山県美術展		令和4年1月		和歌山県立近代美術館
78 レラシオン・セラ ミカ×京都		令和4年3月		ギャラリー揺 京都 スペイン人作家 10 名と林康夫・井澤正 憲・井澤幸子による展覧会 ディレクター：井澤正憲
「取材」				
1 アートナウ 陶芸家 井澤正憲 /井澤幸子		平成19年3月	NHK 和歌 山放送局	
2 見たり、触れたり 、作ったり 器もメニューの一 部レシピ		平成22年3月	(有)アガサ ス	A g a s u s u 4月号 P40
3 陶芸家の週末カフ エ		平成23年	京阪神エル マガジン社	SAVVY 別冊 vol.2 P49
4 陶芸家を作った器 のための場		平成24年11月	和歌山リビ ング新聞社	L i s m 11月号 P41 取材
5 ぼくらが器での表 現にこだわる理由		平成25年1月	WBS 和歌 山放送	「HONDA DREAM NAVI」 対談
6 夏こそ、アート だ。		平成25年7月	和歌山リビ ング新聞社	L i s m 7月号 P45 取材

研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項

著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
7 陶芸家の井澤正憲さんと井澤幸子さん夫婦 8 ミチシオ祭 ほぼ完全ガイド 9 器とは何か 問い続ける日々 10 器からの問いにどう答える？ 11 陶芸作家の世界が広がる一点もののカップでお茶しよう 「 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12		平成25年12月 平成26年5月 平成27年2月 平成27年11月	TV 和歌山 (有)アガサス 産経新聞社 和歌山リビング新聞社 和歌山リビング新聞社	ちゃぶ台 出演 Agasusu 5月号 P57 産経新聞 2月18日 人の「和」 Lism 11月号 P12-13 「作家×作家 クロストーク」 井澤正憲×井澤幸子 Lism 12月号 P37 「器×カフェ」